

サイバーセキュリティ人材の育成促進に向けた検討会

東邦ガス情報システム 説明資料

2025/4/3

東邦ガス情報システム株式会社(略称:TOGIS)
IT基盤サービス部 セキュリティオペレーショングループ 山本秀樹

1. 会社紹介
2. アクティブリストを活用した中小企業支援について
3. みなし受講について
4. 実践的方策ガイドβ版（案）について
5. 普及施策について

1. 会社紹介

- **会社名** 東邦ガス情報システム株式会社
略称 TOGIS（トージス）
- **所在地** 名古屋市熱田区桜田町19番18号
（東邦ガス株本社構内）
- **設 立** 1984年2月1日
- **資本金** 8,000万円
- **社員数** 258名〔2024年4月1日現在〕
- **売上高** 123億9,556万円〔2023年度〕
- **事業内容**
 - システム開発（主に東邦ガス向け）
 - データセンター
 - コンサルティング（SAP、セキュリティ）



2. アクティブリストを活用した中小企業支援について

- 組織ではなく個人が支援することを考慮すると「現在対応不可」や「一時的な公開停止」を登録セキスぺが自分自身で変更できると望ましい。
- 運用開始後も、よく参照される検索条件や活用者の意見を募り、定期的に入力項目の拡張を検討できると良いのではないか。
- 支援する人によって推奨する対策に大きな差異が生じない工夫が必要。
実践的方策ガイド、ワーキング1で検討中の対策評価制度の評価基準などを踏まえながら推奨する対策を登録セキスぺが把握できる仕組みが必要。
- 副業の禁止などの事情によって登録できない人材もアクティブリストへ参加しやすくなる働きかけも必要。登録セキスぺを保有している企業が活動の意義を理解し、参画を推奨するような政府発信を検討してはどうか。

3. みなし受講について

- アクティブリスト登録者に関しては、中小企業支援に対するマネジメント指導を従来の講習の代替とできれば登録セキスぺの費用負担が軽減されるため、中小企業が負担すべき支援に関する費用の軽減も期待できると考える。
- 登録セキスぺの維持費用を企業が負担しているケースもあり、業務の証明書によって講習費用が軽減されるのはよいと考える。組織内の登録セキスぺの拡大にも寄与できるのではないか。
- 証明書については、社内の業務内容を過度に開示しなくても済むよう内容の精査が必要。独立系の登録セキスぺは顧客の負担軽減も必要と思われるため、業務委託契約書に相当する書類の活用検討も必要ではないか。

4. 実践的方策ガイドβ版（案）について

- 他に公開済のガイドラインも含め、それぞれのガイドラインをどのような場合に活用するか解説を工夫することで活用しやすくなるのではないかな。
- ガイドラインの名称に関しても、人材の確保・育成に関するガイドラインであることが把握可能なことを前提に検討してはどうか。
- セキュリティ対策において、PDCAサイクルを意識することが重要と考える。社内・社外の環境変化を踏まえ、継続的に対策を見直す必要性を訴求してはどうか。
- 企業の規模や形態が様々であるため、要員の配置や対応が異なることが想定される。実態をヒアリングして実際の事例や工夫を追加できるとよいのではないかな。

- アクティブリストやガイドラインがより活用されるよう、普及施策には従来以上に力を入れる必要があると考える。対策評価制度の開始によって対策の必要性が高まることも予想されるため、大企業と連携してサプライチェーンへ普及していく検討も必要ではないか。
- 中部地域では人的・技術的・予算的な制約の多い中小企業がガイドラインに沿って対策を進めやすくなるような取組みの検討を中部経済産業局とも連携して進めているが、地域組織のみで連携して進めるには対応が難しい。
当地区のような対応を活性化して普及、推進できるよう、積極的なご支援を頂きたい。